

事務事業名	社会福祉法人の実地検査及び定款変更事務(障害)	事務事業No.	10502000924	所属課	社会福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 茨城県からの権限移譲事務で平成25年度から社会福祉法人本部の所在地が桜川市にあり、法人の行う事業が桜川市の区域を超えない法人の実地検査及び定款変更の認可事務を実施することになる。					
(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 社会福祉法・社会福祉法施行規則・定款準則・定款施行規則等を根拠として行うものであり、実施義務の事業であり、結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 社会福祉法人の実地指導は、所轄庁となる市が行うものである。また、定款変更についても、所轄庁となる市が承認することにより、効力を有するものである。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 社会福祉法人の種類(障害・児童・介護等)によって担当する課が、実地指導を行っている。担当者間で研修を行い、実地検査の質を高めていく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 社会福祉法人の運営や経営等が適正に行われているかの実地検査や定款変更の承認がされないこととなり、不正事案の防止や安定したサービスの提供が確保されず、利用である市民に対するサービスの質の確保が脅かされることが想定される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に手段がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 職員の人件費のみのため、事業費はない。専門性のある事業のため研修を行うなどし、提出資料の事前確認、実地検査において、人件費を削減する余地はあると思われる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 広く市民が安心した生活を送ることのできる福祉サービスの提供につながるものであり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	社会福祉法人には社会福祉協議会の他、障害者施設、児童福祉施設、介護福祉施設があり関係課がそれぞれに実地検査・定款変更事務を行っている。令和元年度は、障害者施設の土地取得に関わる定款変更をした2法人より定款変更届を受理した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策で定期検査を翌年度以降に延期したが令和3年度は3法人とも実施した。	
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果	
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 社会福祉法人には社会福祉協議会の他、障害者施設、児童福祉施設、介護福祉施設があり関係課がそれぞれに実地検査・定款変更事務を行っている。令和元年度は、障害者施設の土地取得に関わる定款変更をした2法人より定款変更届を受理した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策で定期検査を翌年度以降に延期したが令和3年度は実施した。専門性のある事業のため研修を行うなどし、提出資料の事前確認、実地検査において、人件費を削減する余地はあると思われる。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/>	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>